

注3 **大学番号：国064**

[平成30年度設置]

計画の区分： 研究科の専攻の設置又は課程の変更  
注1

**事前伺い**

岡山大学大学院 自然科学研究科  
学際基礎科学専攻（博士後期課程）  
注2

## 【事前伺い】設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人 岡山大学  
令和2年5月1日現在

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。  
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。  
例) 〇〇大学 △△学部 □□学科  
(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))  
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。  
例)  
・大学の設置の場合：「〇〇大学」  
・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」  
・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」  
・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」  
・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」  
・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」  
・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」  
・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 大学番号の欄については、調査対象大学等に対して別途発出する、事務連絡「令和2年度の履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

# 目次

大学院自然科学研究科

＜学際基礎科学専攻（博士後期課程）＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	9
4. 既設大学等の状況	10
5. 教員組織の状況	14
6. 附帯事項等に対する履行状況等	23
7. その他全般的事項	24

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

国立大学法人 岡山大学

## (2) 大学名

岡山大学

## (3) 調査対象大学等の位置

〒700-8530

岡山県岡山市北区津島中三丁目1番1号

(岡山県岡山市北区津島中一丁目1番1号)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(マキノ ヒロフミ) 榎野博史 (平成29年4月1日)		
理事	(タカハシ カヨ) 高橋香代 (平成29年4月1日)		
研究科長	(トミオカ ケンジ) 富岡憲治 (平成29年4月1日)	(トミタ エイジ) 富田栄二 (平成31年4月1日)	研究科長の交替 平成31年4月1日 (元)
		(ツルタ ケンジ) 鶴田健二 (令和2年4月1日)	研究科長の交替 令和2年4月1日 (2) 富田英二が令和2年3月31日付で急遽退職したため、報告時点では事務取扱。研究科長は選考中。
専攻長	(スズキ タカヨシ) 鈴木孝義 (平成30年4月1日)	(タニグチ マサハル) 谷口雅治 (平成31年4月1日)	専攻長の交替 平成31年4月1日 (元)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 令和元年度に報告済の内容 → (元)

令和2年度に報告する内容 → (2)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成28年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和2年度までの5年間）ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画			備考
		修業年限	入学定員	収容定員	
自然科学研究科 学際基礎科学専攻 (博士後期課程) 博士（理学） 博士（学術）	理学関係	3年	10人	30人	基礎となる学部 理学部

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1）」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	10 ( - ) [ - ]	人	10 ( - ) [ - ]	人	10 ( - ) [ - ]	人	人	0.83倍	-		
志願者数	5 ( - ) [ 4 ]	6 ( - ) [ 6 ]	4 ( - ) [ 2 ]	5 ( - ) [ 5 ]	6 ( - ) [ 1 ]	( - ) [ - ]	( - ) [ - ]				
受験者数	5 ( - ) [ 4 ]	6 ( - ) [ 6 ]	4 ( - ) [ 2 ]	5 ( - ) [ 5 ]	6 ( - ) [ 1 ]	( - ) [ - ]	( - ) [ - ]				
合格者数	5 ( - ) [ 4 ]	6 ( - ) [ 6 ]	4 ( - ) [ 2 ]	5 ( - ) [ 5 ]	6 ( - ) [ 1 ]	( - ) [ - ]	( - ) [ - ]				
B 入学者数	5 ( - ) [ 4 ]	5 ( - ) [ 5 ]	4 ( - ) [ 2 ]	5 ( - ) [ 5 ]	6 ( - ) [ 1 ]	( - ) [ - ]	( - ) [ - ]				
入学定員超過率 B/A	1.00		0.90		0.60						

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ ( ) 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、( ( ) )書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [ ] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和2年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	対象年度		令和元年度		令和2年度		備考
	平成30年度		春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	5 [ 4 ] ( - )	5 [ 5 ] ( - )	4 [ 2 ] ( - )	5 [ 5 ] ( - )	6 [ 1 ] ( - )	5 [ 5 ] ( - )	
2年次	/		5 [ 4 ] ( - )	5 [ 5 ] ( - )	4 [ 2 ] ( - )	4 [ 4 ] ( - )	
3年次			/		/		5 [ 4 ] ( - )
計	10 [ 9 ] ( - )	19 [ 16 ] ( - )					24 [ 16 ] ( - )

・令和2年5月1日 公表

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[ ]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	10人	0人	平成30年度	0人	0人	
令和元年度	19人	1人	平成30年度	1人	1人	家庭の事情
			令和元年度	0人	0人	
令和2年度	24人	0人	平成30年度	0人	0人	
			令和元年度	0人	0人	
			令和2年度	0人	0人	
合計		1人		1人	1人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{10} = \boxed{0} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{19} = \boxed{5.26} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{24} = \boxed{0} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

## 2 授業科目の概要

<自然科学研究科 学際基礎科学専攻（博士後期課程）>

### (1) -① 授業科目表

#### 【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手	
基本科目	科学における哲学と倫理	1・2通	1			12	11				2	
	アドバンスト学際基礎科学プレゼンテーション	1・2通	1			12	11		6			
	学際基礎科学国際セミナー	1・2通	1			12	11		6			
	先端研究インターンシップ	1・2通	1			12	11					
	小計(4科目)	-	4			12	11		6		2	
専門科目	進行波の数理	1・2・3期		2			1					
	確率微分方程式特論	1・2・3期		2				1				
	実験量子物理学	1・2・3期		2			1					
	原子基礎物理学	1・2・3期		2				1				
	原子・分子・光物理学	1・2・3期		2				1				
	光エネルギー代謝論	1・2・3期		2			1			1		
	構造生物学特論	1・2・3期		2			1	1				
	配位化学特論	1・2・3期		2			1					
	電子機能性材料物理学	1・2・3期		2			1					
	超伝導材料物理学	1・2・3期		2				1				
	光電子物性物理学	1・2・3期		2			1					
	薄膜物性物理学	1・2・3期		2				1				
	量子電子物理学	1・2・3期		2				1				
	量子多体物理学	1・2・3期		2			1					
	強相関電子系物理学	1・2・3期		2				1				1
	量子輸送物理学	1・2・3期		2				1				
	界面物理化学	1・2・3期		2			1				2	
	統計力学	1・2・3期		2			1	1				
	理論化学特論	1・2・3期		2			1	1				
	合成有機化学	1・2・3期		2			1			2		
	数理解析学演習	1・2・3通		2			1	1				
	極限量子物理学演習	1・2・3通		2			1	1				
	量子宇宙基礎物理学演習	1・2・3通		2				1				
	分子生理学演習	1・2・3通		2			1			1		
	構造生物学演習	1・2・3通		2			1	1			1	
	配位化学演習	1・2・3通		2			1					
	量子物性物理学演習	1・2・3通		2			1	1				
	界面電子物理学演習	1・2・3通		2			1	2				
	量子多体物理学演習	1・2・3通		2			1	2				
	界面物性化学演習	1・2・3通		2			1			2		
	理論物理化学演習	1・2・3通		2			1	1			1	
	理論化学演習	1・2・3通		2			1	1				
	機能有機化学演習	1・2・3通		2			1				2	
小計(33科目)	-		66			12	11		6			
合計(37科目)	-		4	66		12	11		6		2	
卒業要件及び履修方法												
本研究科に3年以上在学し(早期修了を認める場合もある)、基本科目(必修科目)4単位、「量子宇宙講義科目」、「光合成・構造生物学講義科目」、「超伝導・機能材料講義科目」に分類した3つの科目群の中から2つ以上の科目群を選択し、かつ選択した科目群の中から2単位以上(選択必修科目)、さらに所属する教育研究分野の演習科目2単位以上(選択必修科目)を含め12単位以上を履修し、かつ必要な研究指導を受けた上で、所属する教育研究分野において博士論文を作成し、その審査及び最終試験に合格すること。												

#### 【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
基本科目	科学における哲学と倫理	1・2通	1			12	12				1
	アドバンスト学際基礎科学プレゼンテーション	1・2通	1			12	12		3		
	学際基礎科学国際セミナー	1・2通	1			12	12		3		
	先端研究インターンシップ	1・2通	1			12	12				
	小計(4科目)	-	4			12	12		3		1
(量子宇宙科目)	進行波の数理	1・2・3期		2			1				
	確率微分方程式特論	1・2・3期		2				1			
	実験量子物理学	1・2・3期		2			1				
	原子基礎物理学	1・2・3期		2				1			
	原子・分子・光物理学	1・2・3期		2				1			
	光エネルギー代謝論	1・2・3期		2			1			1	
	構造生物学特論	1・2・3期		2			1	2			
	配位化学特論	1・2・3期		2			1				
	電子機能性材料物理学	1・2・3期		2			1				
	超伝導材料物理学	1・2・3期		2				1			
(超伝導・機能材料講義科目)	光電子物性物理学	1・2・3期		2			1				
	薄膜物性物理学	1・2・3期		2				1			
	量子電子物理学	1・2・3期		2				1			
	量子多体物理学	1・2・3期		2			1				
	強相関電子系物理学	1・2・3期		2				1			1
	量子輸送物理学	1・2・3期		2				1			
	界面物理化学	1・2・3期		2			1			1	
	固体物性化学	1・2・3期		2				1			
	統計力学	1・2・3期		2			1	1			
	理論化学特論	1・2・3期		2			1	1			
(演習科目)	合成有機化学	1・2・3期		2			1			1	
	数理解析学演習	1・2・3通		2			1	1			
	極限量子物理学演習	1・2・3通		2			1	1			
	量子宇宙基礎物理学演習	1・2・3通		2				1			
	分子生理学演習	1・2・3通		2			1			1	
	構造生物学演習	1・2・3通		2			1	2			
	配位化学演習	1・2・3通		2			1				
	量子物性物理学演習	1・2・3通		2			1				
	界面電子物理学演習	1・2・3通		2			1	2			
	量子多体物理学演習	1・2・3通		2			1	2			
小計(34科目)	-	4	68		12	12		3		1	
合計(38科目)	-	4	68		12	12		3		2	
卒業要件及び履修方法											
本研究科に3年以上在学し(早期修了を認める場合もある)、基本科目(必修科目)4単位、「量子宇宙講義科目」、「光合成・構造生物学講義科目」、「超伝導・機能材料講義科目」に分類した3つの科目群の中から2つ以上の科目群を選択し、かつ選択した科目群の中から2単位以上(選択必修科目)、さらに所属する教育研究分野の演習科目2単位以上(選択必修科目)を含め12単位以上を履修し、かつ必要な研究指導を受けた上で、所属する教育研究分野において博士論文を作成し、その審査及び最終試験に合格すること。											

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基本科目	科学における哲学と倫理	1・2通	1			12	12					1
	アドバンスト学際基礎科学プレゼンテーション	1・2通	1			12	12		4			
	学際基礎科学国際セミナー	1・2通	1			12	12		4			
	先端研究インターンシップ	1・2通	1			12	12					
	小計(4科目)	-	4			12	12		4			1
専門科目	進行波の数理	1・2-3期		2		1						
	確率微分方程式特論	1・2-3期		2		1						
	実験量子物理学	1・2-3期		2		1						
	原子基礎物理学	1・2-3期		2		1						
	原子・分子・光物理学	1・2-3期		2		1						
	光エネルギー代謝論	1・2-3期		2		1			1			
	構造生物学特論	1・2-3期		2		1	2					
	配位化学特論	1・2-3期		2		1						
	電子機能性材料物理学	1・2-3期		2		1						
	超伝導材料物理学	1・2-3期		2		1						
	光電子物性物理学	1・2-3期		2		1						
	薄膜物性物理学	1・2-3期		2		1						
	量子電子物理学	1・2-3期		2		1						
	量子多体物理学	1・2-3期		2		1						
	強相関電子系物理学	1・2-3期		2		1						1
	量子輸送物理学	1・2-3期		2		1						
	界面物理化学	1・2-3期		2		1					1	
	固体物性化学	1・2-3期		2		1					1	
	統計力学	1・2-3期		2		1	1					
	理論化学特論	1・2-3期		2		1	1					
	合成有機化学	1・2-3期		2		1				2		
	数理解析学演習	1・2-3通		2		1	1					
	極限量子物理学演習	1・2-3通		2		1	1					
	量子宇宙基礎物理学演習	1・2-3通		2		1	1					
	分子生理学演習	1・2-3通		2		1				1		
	構造生物学演習	1・2-3通		2		1	2					
	配位化学演習	1・2-3通		2		1						
	量子物性物理学演習	1・2-3通		2		1	1					
	界面電子物理学演習	1・2-3通		2		1	2					
	量子多体物理学演習	1・2-3通		2		1	1				2	
	界面物性化学演習	1・2-3通		2		1	1				1	1
	理論物理化学演習	1・2-3通		2		1	1					
	理論化学演習	1・2-3通		2		1	1					
	機能有機化学演習	1・2-3通		2		1					2	
小計(34科目)	-		68		12	12		4			1	
合計(38科目)	-	4	68		12	12		4			2	

卒業要件及び履修方法

本研究科に3年以上在学し(早期修了を認める場合もある)、基本科目(必修科目)4単位、「量子宇宙講義科目」、「光合成・構造生物学講義科目」、「超伝導・機能材料講義科目」に分類した3つの科目群の中から2つ以上の科目群を選択し、かつ選択した科目群の中から2単位以上(選択必修科目)、さらに所属する教育研究分野の演習科目2単位以上(選択必修科目)を含め12単位以上を履修し、かつ必要の研究指導を受けた上で、所属する教育研究分野において博士論文を作成し、その審査及び最終試験に合格すること。

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**赤字**としてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
  - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
  - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページ目に表示されるようにしてください。)
  - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基本科目	科学における哲学と倫理	1・2通	1			12	12					1
	アドバンスト学際基礎科学プレゼンテーション	1・2通	1			12	12		4			
	学際基礎科学国際セミナー	1・2通	1			12	12		4			
	先端研究インターンシップ	1・2通	1			12	12					
	小計(4科目)	-	4			12	12		4			1
(量子宇宙講義科目)	進行波の数理	1・2-3期		2		1						
	確率微分方程式特論	1・2-3期		2		1						
	実験量子物理学	1・2-3期		2		1						
	原子基礎物理学	1・2-3期		2		1			1			
(光合成・構造生物学講義科目)	光エネルギー代謝論	1・2-3期		2		1				1		
	構造生物学特論	1・2-3期		2		1	2					
(超伝導・機能材料講義科目)	電子機能性材料物理学	1・2-3期		2		1						
	超伝導材料物理学	1・2-3期		2		1			1			
	光電子物性物理学	1・2-3期		2		1						
	薄膜物性物理学	1・2-3期		2		1			1			
	量子電子物理学	1・2-3期		2		1			1			
	量子多体物理学	1・2-3期		2		1						
	強相関電子系物理学	1・2-3期		2		1				1		1
	量子輸送物理学	1・2-3期		2		1				1		
	界面物理化学	1・2-3期		2		1					1	
	固体物性化学	1・2-3期		2		1				1		
(演習科目)	統計力学	1・2-3期		2		1	1					
	理論化学特論	1・2-3期		2		1	1					
	合成有機化学	1・2-3期		2		1					2	
	数理解析学演習	1・2-3通		2		1	1					
	極限量子物理学演習	1・2-3通		2		1	1					
	量子宇宙基礎物理学演習	1・2-3通		2		1	1					
	分子生理学演習	1・2-3通		2		1				1		
	構造生物学演習	1・2-3通		2		1	2					
	配位化学演習	1・2-3通		2		1						
	量子物性物理学演習	1・2-3通		2		1	1					
界面電子物理学演習	1・2-3通		2		1	2						
量子多体物理学演習	1・2-3通		2		1	2				2		
界面物性化学演習	1・2-3通		2		1	1				1	1	
理論物理化学演習	1・2-3通		2		1	1						
理論化学演習	1・2-3通		2		1	1						
機能有機化学演習	1・2-3通		2		1					2		
小計(34科目)	-		68		12	12		4			1	
合計(38科目)	-	4	68		12	12		4			2	

卒業要件及び履修方法

本研究科に3年以上在学し(早期修了を認める場合もある)、基本科目(必修科目)4単位、「量子宇宙講義科目」、「光合成・構造生物学講義科目」、「超伝導・機能材料講義科目」に分類した3つの科目群の中から2つ以上の科目群を選択し、かつ選択した科目群の中から2単位以上(選択必修科目)、さらに所属する教育研究分野の演習科目2単位以上(選択必修科目)を含め12単位以上を履修し、かつ必要の研究指導を受けた上で、所属する教育研究分野において博士論文を作成し、その審査及び最終試験に合格すること。



(1) ②授業科目表に関する変更内容

**【平成30年度】**

- ・基本科目4講義について、准教授1名退職、助教2名が准教授に昇任により「准教授11」から「准教授12」、「助教6」から「助教4」に変更、これにより「兼任2」を「兼任1」に変更。
- ・教員の採用辞退により、「量子多体物理学演習」の専任教員等の配置を「教授1」「准教授2」から「教授1」「准教授1」に変更。
- ・教員の昇任により、「構造生物学特論」の専任教員等の配置を「准教授1」「助教1」から「准教授2」に変更。
- ・教員の退職により、「強相関電子系物理学」の専任教員等の配置を「准教授1」から兼任・兼任「1」（特別契約職員教授）に変更。
- ・教員の昇任により、「界面物理化学」の専任教員等の配置を「助教2」から「助教1」に変更。
- ・昇任した教員による教育内容の充実により、「固体物性化学」を新規追加。
- ・教員の昇任により、「構造生物学演習」の専任教員等の配置を「准教授1」「助教1」から「准教授2」に変更。
- ・教員の昇任により、「界面物性化学演習」の専任教員等の配置を「教授1」「助教2」から「教授1」「准教授1」「助教1」に変更。

**【令和元年度】**

- ・教員の採用により、「強相関電子系物理学」の専任教員等の配置を兼任・兼任「1」（特別契約職員教授）から「准教授1」兼任・兼任「1」（特別契約職員教授）に変更。
- ・教員の採用により、「量子多体物理学演習」の専任教員等の配置を「教授1」「准教授1」から「教授1」「准教授2」に変更。
- ・教員の退職により、「確率微分方程式特論」は「准教授1」から「准教授0」に変更。（後任補充予定）
- ・教員の退職により、「数理解析学演習」は「教授1」「准教授1」から「教授1」「准教授0」に変更。
- ・設置計画時において設定していた科目群について、設置計画履行状況報告様式上の記入漏れが明らかになったことの訂正。なお、計画時からの本質的な変更はない。

**【令和2年度】**

- ・基本科目「アドバンスト学際基礎科学プレゼンテーション」・「学際基礎科学国際セミナー」について、助教1名退職により「助教4」から「助教3」に変更。（後任補充予定）
- ・教員の採用により、「確率微分方程式特論」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に変更。
- ・教員の採用により、「数理解析学演習」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授1」「准教授1」に変更。
- ・教員の退職に伴う担当教員の変更により、「超伝導材料物理学」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・教員の退職により、「量子物性物理学演習」の専任教員等の配置を「教授1」「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・教員の退職により、「合成有機化学」の専任教員等の配置を「教授1」「助教2」から「教授1」「助教1」に変更。
- ・教員の退職により、「機能有機化学演習」の専任教員等の配置を「教授1」「助教2」から「教授1」「助教1」に変更。

- (注) ・ 2(1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。  
 ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。  
 ・ 不要な年度（平成30年度開設であれば平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
4 科目	33 科目		37 科目	4 科目 [ ]	34 科目 [ 1 ]		38 科目 [ 1 ]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当無し					
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当無し					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当無し
------

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{37} = \boxed{0}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
	校舎敷地	668,725 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	668,725 m <sup>2</sup>			
	運動場用地	92,955 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	92,955 m <sup>2</sup>			
	小 計	761,680 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	761,680 m <sup>2</sup>			
	そ の 他	44,279 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	44,279 m <sup>2</sup>			
	合 計	805,959 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	805,959 m <sup>2</sup>			
(2) 校 舎	専 用	359,159 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	359,159 m <sup>2</sup>			
	( 359,159 m <sup>2</sup> )	( 0 m <sup>2</sup> )	( 0 m <sup>2</sup> )	( 0 m <sup>2</sup> )	( 359,159 m <sup>2</sup> )			
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体		
	163 室	150 室	296 室	21 室 (補助職員 12 人)	3 室 (補助職員 1 人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数				
	自然科学研究科 学際基礎科学専攻			25 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 種	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	研究科単位で特定不明なため、大学全体の数(機械・器具、標本を除く) 購入・廃棄のため(元) 機械・器具は、研究科に帰属する機械・器具を再度精査したこと及び購入のため増加(元) 購入・廃棄のため(2)
	自然科学研究科 学際基礎科学専攻	2,049,625 [679,361] 2,033,948 [672,573] 2,025,571 [669,235]	49,858 [17,410] 50,918 [17,739] 50,775 [17,673]	22,230 [22,225] 22,988 [22,983]	5,537 6,216 5,600	10,900 10,499 10,237	0	
		(2,049,625 [679,361]) (2,033,948 [672,573]) (2,025,571 [669,235])	(49,858 [17,410]) (50,918 [17,739]) (50,775 [17,673])	(22,230 [22,225]) (22,988 [22,983])	(5,537) (6,216) (5,600)	(10,900) (10,499) (10,237)	(0)	
	計	2,049,625 [679,361] 2,033,948 [672,573] 2,025,571 [669,235]	49,858 [17,410] 50,918 [17,739] 50,775 [17,673]	22,230 [22,225] 22,988 [22,983]	5,537 6,216 5,600	10,900 10,499 10,237	0	
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体 三朝地区記入漏れの追記のため(元) 購入・廃棄のため(2)	
	20,738 20,813 m <sup>2</sup>		1,553 1,573 席		1,514,666 1,521,361 1,521,389 冊			
(7) 体 育 館	面 積		体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要					大学全体
	10,897 m <sup>2</sup>		陸上競技場、野球場、テニスコート、弓道場、プール等					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	
		教員 1 人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	
	共 同 研 究 費 等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円	
	学生 1 人当り 納付金	第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次	
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	
学生納付金以外の維持方法の概要								

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和2年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	岡山大学										備考
	既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和2年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
文学部						学士(文学), 学士(学術)	1.02	1.06			岡山市北区津島中三丁目1番1号
人文学科	4	175	—	700			1.02	1.06	平成16年度		
教育学部						学士(教育学), 学士(学術)	1.01	1.02			岡山市北区津島中三丁目1番1号
学校教育教員養成課程	4	250	—	1,000			1.01	1.02	平成11年度		
養護教諭養成課程	4	30	—	120			1.00	1.00	昭和53年度		
法学部						学士(法学), 学士(学術)	1.03	1.04			岡山市北区津島中三丁目1番1号
法学科											
昼間コース	4	205	—	820			1.02	1.04	平成16年度		
夜間主コース	4	20	—	80			1.08	1.00	平成16年度		
経済学部						学士(経済学), 学士(学術)	1.02	1.02			岡山市北区津島中三丁目1番1号
経済学科											
昼間コース	4	205	—	820			1.02	1.02	平成16年度		
夜間主コース	4	40	—	160			1.07	1.05	平成16年度		
理学部						学士(理学), 学士(学術)	1.04	1.04			岡山市北区津島中三丁目1番1号
数学科	4	20	3年次20	80			1.01	1.00	平成7年度		
物理学科	4	35		140			1.05	1.05	平成7年度		
化学科	4	30		120			1.05	1.03	平成7年度		
生物学科	4	30		120			1.03	1.03	平成7年度		
地球科学科	4	25		100			1.07	1.08	平成7年度		
医学部						学士(医学), 学士(看護学), 学士(保健学), 学士(学術)	0.99	1.00			岡山市北区備田町二丁目5番1号
医学科	6	112	2年次5	706			0.99	0.98	令和2年度	昭和24年度	
保健学科							0.98	1.01			
看護学専攻	4	80	3年次10	340			0.98	1.00	平成10年度		
放射線技術科学専攻	4	40	3年次5	170			0.99	1.02	平成10年度		
検査技術科学専攻	4	40	3年次5	170			1.01	1.05	平成10年度		
歯学部						学士(歯学)	1.00	1.00			岡山市北区備田町二丁目5番1号
歯学科	6	48	2年次5	313			1.00	1.00	昭和54年度		学生受入は昭和55年度
薬学部						学士(薬学), 学士(創薬科学), 学士(学術)	1.03	1.08			岡山市北区津島中一丁目1番1号
薬学科	6	40	—	240			1.03	1.07	平成18年度		
創薬科学科	4	40	—	160			1.03	1.10	平成18年度		
工学部						学士(工学), 学士(学術)	1.02	1.01			岡山市北区津島中三丁目1番1号
機械システム系学科	4	160	3年次30	640			1.01	1.00	平成23年度		
電気通信系学科	4	100		400			1.04	1.05	平成23年度		
情報系学科	4	60		240			1.03	1.05	平成23年度		
化学生命系学科	4	140		560			1.02	0.99	平成23年度		

環境理工学部				学士(環境理工学), 学士(学術)	1.04	1.06			岡山市北区津島中三丁目1番1号	
環境数理学科	4	20	—	80	1.00	1.05	平成6年度			
環境デザイン工学科	4	50	—	200	1.06	1.06	平成6年度			
環境管理工学科	4	40	—	160	1.06	1.10	平成6年度			
環境物質工学科	4	40	—	160	1.05	1.05	平成6年度			
農学部				学士(農学), 学士(学術)	1.04	1.06			岡山市北区津島中一丁目1番1号	
総合農業科学科	4	120	—	480	1.04	1.06	昭和61年度			
大学全体		2,195	2年次10 3年次70	9,379	—	1.01	1.03	—	—	—
教育学研究科				修士(教育学)	1.17	1.18			岡山市北区津島中三丁目1番1号	
(修士課程)										
教育科学専攻	2	37	—	74	1.17	1.18	平成30年度			平成30年度より学生募集停止
発達支援学専攻	2	—	—	—	—	—	平成20年度			
教科教育学専攻	2	—	—	—	—	—	平成20年度			
(専門職学位課程)				教職修士(専門職)	0.84	1.00				
教職実践専攻	2	45	—	90	0.84	1.00	平成30年度			平成30年度より学生募集停止
教職実践専攻	2	—	—	—	—	—	平成20年度			
社会文化科学研究科									岡山市北区津島中三丁目1番1号	平成18年度より名称変更
(博士前期課程)				修士(文学), 修士(法学), 修士(経済学), 修士(経営学), 修士(公共政策学), 修士(文化科学), 修士(学術)	0.78	0.88				
国際社会専攻	2	14	—	28	0.78	0.71	平成30年度			
日本・アジア文化専攻	2	12	—	24	0.83	1.00	平成30年度			
人間社会文化専攻	2	30	—	60	0.78	0.93	平成30年度			
法政理論専攻	2	15	—	30	0.36	0.53	平成30年度			
経済理論・政策専攻	2	6	—	12	1.24	1.66	平成30年度			
組織経営専攻	2	11	—	22	1.08	0.90	平成18年度			平成30年度から定員減 14-11
社会文化基礎学専攻	2	—	—	—	—	—	平成16年度			平成30年度より学生募集停止
比較社会文化学専攻	2	—	—	—	—	—	平成16年度			
公共政策科学専攻	2	—	—	—	—	—	平成18年度			
(博士後期課程)				博士(文学), 博士(法学), 博士(経済学), 博士(経営学), 博士(文化科学), 博士(学術)	0.80	0.41				
社会文化学専攻	3	12	—	36	0.80	0.41	平成16年度			
自然科学研究科									岡山市北区津島中三丁目1番1号	
(博士前期課程)				修士(理学), 修士(工学), 修士(学術)	1.05	1.02				
数理物理科学専攻	2	38	—	76	0.76	0.81	平成11年度			
分子科学専攻	2	24	—	48	0.95	0.79	平成17年度			
生物科学専攻	2	22	—	44	1.13	1.04	平成17年度			
地球科学専攻	2	16	—	32	0.71	0.50	平成11年度			
機械システム工学専攻	2	98	—	196	1.20	1.25	平成11年度			
電子情報システム工学専攻	2	90	—	180	1.10	1.00	平成11年度			
応用化学専攻	2	50	—	100	1.02	1.02	平成27年度			
生命医用工学専攻	2	—	—	—	—	—	平成27年度			平成30年度より学生募集停止
(博士後期課程)				博士(理学), 博士(工学), 博士(学術)	0.72	0.52				
数理物理科学専攻	3	6	—	18	0.66	0.50	平成24年度			平成30年度から定員減 10-6
地球生命物質科学専攻	3	11	—	33	0.45	0.45	平成24年度			平成30年度から定員減 17-11

学際基礎科学専攻	3	10	—	30	0.83	0.60	平成30年度	
産業創成工学専攻	3	18	—	54	0.86	0.50	平成17年度	平成30年度から定員減 21→18
応用化学専攻	3	5	—	15	0.66	0.60	平成27年度	平成30年度から定員減 7→5
化学生命工学専攻	3	—	—	—	—	—	平成24年度	平成27年度より学生募集停止
生命医用工学専攻	3	—	—	—	—	—	平成27年度	平成30年度より学生募集停止
(博士課程) 5年一貫制								
地球惑星物質科学専攻	5	4	—	20	0.75	0.00	平成21年度	
保健学研究科								岡山市北区備田町二丁目5番1号
(博士前期課程)								
保健学専攻	2	26	—	52	1.03	1.00	平成15年度	
(博士後期課程)								
保健学専攻	3	10	—	30	0.96	1.10	平成17年度	
環境生命科学研究所								岡山市北区津島中三丁目1番1号
(博士前期課程)								
社会基盤環境学専攻	2	30	—	60	0.79	0.83	平成24年度	
生命環境学専攻	2	23	—	46	0.69	0.63	平成24年度	
資源循環学専攻	2	43	—	86	0.82	0.91	平成24年度	
生物資源科学専攻	2	25	—	50	0.84	0.86	平成24年度	
生物生産科学専攻	2	25	—	50	0.96	1.16	平成24年度	
(博士後期課程)								
環境科学専攻	2	38	—	76	0.70	0.26	平成24年度	
農生命科学専攻	3	22	—	66	0.61	0.31	平成24年度	
	3	20	—	60	0.80	0.20	平成24年度	
医歯薬学総合研究所								岡山市北区備田町二丁目5番1号
(修士課程)								
医歯科学専攻	2	20	—	40	1.17	1.15	平成17年度	
(博士前期課程)								
薬科学専攻	2	37	—	74	1.17	1.15	平成22年度	平成30年度から定員減 40→37
(博士後期課程)								
薬科学専攻	2	9	—	27	0.94	0.89	平成24年度	
	3	9	—	27	0.42	0.44	平成24年度	平成30年度から定員減 10→9
(博士課程)								
生体制御科学専攻	4	25	—	100	1.06	0.92	平成17年度	
病態制御科学専攻	4	62	—	248	1.25	0.88	平成17年度	
機能再生・再建科学専攻	4	28	—	112	1.03	0.93	平成17年度	
社会環境生命科学専攻	4	28	—	112	0.95	0.92	平成17年度	
	4	13	—	52	1.09	0.92	平成17年度	
ヘルスシステム統合科学研究科								岡山市北区津島中三丁目1番1号
(博士前期課程)								
ヘルスシステム統合科学専攻	2	80	—	160	1.01	1.10	平成30年度	
(博士後期課程)								
ヘルスシステム統合科学専攻	3	16	—	48	0.72	0.56	平成30年度	

法務研究科 (専門職学位課程)					法務博士(専門職)	0.74	0.79			岡山市北区津島中三丁目1番1号	
法務専攻	3	24	—	72		0.74	0.79		平成16年度		平成29年度から定員減 30→24
大学院全体		1,125	—	2,681	—	1.08	0.90	—	—	—	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。  
(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。  
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
  - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
  - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和2年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
  - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<自然科学研究科 学際基礎科学専攻（博士後期課程）>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

【令和元年度】

【令和2年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専任	教授	谷口 雅治 (50) <平成30年4月> 博士(数理学)	科学における哲学と倫理 アドバンスト学際基礎科学 プレゼンテーション 学際基礎科学国際セミナー 先端研究インターンシップ 進行波の数理 数理解析学演習	専任	教授	谷口 雅治 (51) <平成30年4月> 博士(数理学)	科学における哲学と倫理 アドバンスト学際基礎科学 プレゼンテーション 学際基礎科学国際セミナー 先端研究インターンシップ 進行波の数理 数理解析学演習	専任	教授	谷口 雅治 (52) <平成30年4月> 博士(数理学)	科学における哲学と倫理 アドバンスト学際基礎科学 プレゼンテーション 学際基礎科学国際セミナー 先端研究インターンシップ 進行波の数理 数理解析学演習
専任	教授	吉村 浩司 (53) <平成30年4月> 博士(数理学)	科学における哲学と倫理 アドバンスト学際基礎科学 プレゼンテーション 学際基礎科学国際セミナー 先端研究インターンシップ 実験量子物理学 極限量子物理学演習	専任	教授	吉村 浩司 (54) <平成30年4月> 博士(数理学)	科学における哲学と倫理 アドバンスト学際基礎科学 プレゼンテーション 学際基礎科学国際セミナー 先端研究インターンシップ 実験量子物理学 極限量子物理学演習	専任	教授	吉村 浩司 (55) <平成30年4月> 博士(数理学)	科学における哲学と倫理 アドバンスト学際基礎科学 プレゼンテーション 学際基礎科学国際セミナー 先端研究インターンシップ 実験量子物理学 極限量子物理学演習
専任	教授	高橋 裕一郎 (60) <平成30年4月> 博士(数理学)	科学における哲学と倫理 アドバンスト学際基礎科学 プレゼンテーション 学際基礎科学国際セミナー 先端研究インターンシップ 光エネルギー代謝論 分子生理学演習	専任	教授	高橋 裕一郎 (61) <平成30年4月> 博士(数理学)	科学における哲学と倫理 アドバンスト学際基礎科学 プレゼンテーション 学際基礎科学国際セミナー 先端研究インターンシップ 光エネルギー代謝論 分子生理学演習	専任	教授	高橋 裕一郎 (62) <平成30年4月> 博士(数理学)	科学における哲学と倫理 アドバンスト学際基礎科学 プレゼンテーション 学際基礎科学国際セミナー 先端研究インターンシップ 光エネルギー代謝論 分子生理学演習
専任	教授	沈 建仁 (55) <平成30年4月> 博士(数理学)	科学における哲学と倫理 アドバンスト学際基礎科学 プレゼンテーション 学際基礎科学国際セミナー 先端研究インターンシップ 構造生物学特論 構造生物学演習	専任	教授	沈 建仁 (56) <平成30年4月> 博士(数理学)	科学における哲学と倫理 アドバンスト学際基礎科学 プレゼンテーション 学際基礎科学国際セミナー 先端研究インターンシップ 構造生物学特論 構造生物学演習	専任	教授	沈 建仁 (57) <平成30年4月> 博士(数理学)	科学における哲学と倫理 アドバンスト学際基礎科学 プレゼンテーション 学際基礎科学国際セミナー 先端研究インターンシップ 構造生物学特論 構造生物学演習
専任	教授	鈴木 孝義 (52) <平成30年4月> 博士(数理学)	科学における哲学と倫理 アドバンスト学際基礎科学 プレゼンテーション 学際基礎科学国際セミナー 先端研究インターンシップ 配位化学特論 配位化学演習	専任	教授	鈴木 孝義 (53) <平成30年4月> 博士(数理学)	科学における哲学と倫理 アドバンスト学際基礎科学 プレゼンテーション 学際基礎科学国際セミナー 先端研究インターンシップ 配位化学特論 配位化学演習	専任	教授	鈴木 孝義 (54) <平成30年4月> 博士(数理学)	科学における哲学と倫理 アドバンスト学際基礎科学 プレゼンテーション 学際基礎科学国際セミナー 先端研究インターンシップ 配位化学特論 配位化学演習
専任	教授	野原 実 (50) <平成30年4月> 博士(数理学)	科学における哲学と倫理 アドバンスト学際基礎科学 プレゼンテーション 学際基礎科学国際セミナー 先端研究インターンシップ 電子機能性材料物理学 量子物性物理学演習	専任	教授	野原 実 (51) <平成30年4月> 博士(数理学)	科学における哲学と倫理 アドバンスト学際基礎科学 プレゼンテーション 学際基礎科学国際セミナー 先端研究インターンシップ 電子機能性材料物理学 量子物性物理学演習	専任	教授	野原 実 (52) <平成30年4月> 博士(数理学)	科学における哲学と倫理 アドバンスト学際基礎科学 プレゼンテーション 学際基礎科学国際セミナー 先端研究インターンシップ 電子機能性材料物理学 超電導材料物理学 量子物性物理学演習
専任	教授	野原 実 (53) <平成30年4月> 博士(数理学)	科学における哲学と倫理 アドバンスト学際基礎科学 プレゼンテーション 学際基礎科学国際セミナー 先端研究インターンシップ 電子機能性材料物理学 超電導材料物理学 量子物性物理学演習								











(1) ②担当教員表に関する変更内容

【平成30年度】

- ・平成29年6月 秋田総理助教 准教授昇任。
- ・平成29年10月 後藤秀徳助教 准教授昇任。
- ・平成30年4月 JESCHKE HARALD OLAF 特別契約職員教授（特任）就任。
- ・平成30年11月 大槻純也 准教授採用。
- ・平成31年3月 楠岡誠一郎 准教授退職。（後任補充予定）

【令和元年度】

- ・令和元年9月 田口 大 准教授採用。
- ・令和2年3月 工藤一貴 准教授退職。（後任補充予定）
- ・令和2年3月 岩崎真之 助教退職。（後任補充予定）

【令和2年度】

- ・令和2年4月 野原 実 教授「超電導材料物理学」授業担当を追加（令和2年3月退職准教授 工藤一貴の代替）

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
  - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（平成30年度開設であれば平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導補助教員数
4	3	3
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学院】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
12	11	0	6	29	0	12	12	0	3	27	0
(12)	(11)	(0)	(6)	(29)	0						
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/		
21	7	1				24	2	1			
(21)	(7)	(1)									
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
12	12	0	3	27	0	12	13	0	4	29	0
[0]	[1]	[0]	[△3]	[△2]	[0]	[0]	[2]	[0]	[△2]	[0]	[0]
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/		
24	2	1				25	3	1			
[3]	[△5]	[0]				[4]	[△4]	[0]			

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を要審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）  
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定 年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員のう ち、定年を延長して 採用している教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員のう ち、定年を延長して 採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{27}{29} = \boxed{93.1} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{0}{27} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{0}{0} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
1	准教授	大成 誠一郎	H30.3	必修	アドバンスト 学際基礎科学 プレゼンテーション	①	H30.3他大学教員に採用のため就任辞退（30）			
				必修	学際基礎科学 国際セミナー	①				
				必修	先端研究 インターシップ	①				
				選択	強相関電子系物理学	②				
				選択	量子多体物理学演習	①				
合計（D）						後任補充状況の集計（E）				
就任を辞退した教員数			担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）			
1	人	必修	3	科目	必修	3	科目	必修	0	科目
		選択	2	科目	選択	1	科目	選択	1	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	5	科目	計	4	科目	計	1	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」</li> <li>・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」</li> <li>・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」</li> </ul> |
|---|

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
1	准教授	楠岡 誠一郎	H31.3	必修	科学における哲学と倫理	①	H31.3.31付他大学教員に採用のため辞任（元）			
				必修	アドバンスト 学術基礎科学 プレゼンテーション	①				
				必修	学際基礎科学国際セミナー	①				
				必修	先端研究インターシップ	①				
				選択	確率微分方程式特論	①				
2	准教授	工藤 一貴	R2.3	必修	科学における哲学と倫理	①	R2.3.31付他大学教員に採用のため辞任（2）			
				必修	アドバンスト学際 基礎科学プレゼン テーション	①				
				必修	学際基礎科学国際セミナー	①				
				必修	先端研究インターシップ	①				
				選択	超伝導材料物理学	①				
3	助教	岩崎 真之	R2.3	必修	アドバンスト学際 基礎科学プレゼン テーション	①	R2.3.31付民間研究機関研究員に採用のため辞任（2）			
				必修	学際基礎科学国際セミナー	①				
				選択	合成有機化学	①				
				選択	機能有機化学演習	①				
合計（F）						後任補充状況の集計（G）				
辞任した教員数			担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）			
3	人	必修	10	科目	必修	10	科目	必修	0	科目
		選択	6	科目	選択	6	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	16	科目	計	16	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」</li> <li>・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」</li> <li>・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」</li> </ul> |
|---|

(3) - ③ 上記(3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計(D) + (F)			後任補充状況の集計(E) + (G)					
辞任等した教員数	担当科目数の合計(a) + (b) + (c)		①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)	
4 人	必修	13 科目	必修	13 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
	選択	8 科目	選択	7 科目	選択	1 科目	選択	0 科目
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	21 科目	計	20 科目	計	1 科目	計	0 科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計(D)+(F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画(A)}} = \frac{4}{29} = \boxed{13.79} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由		
		該当なし						
合計			後任補充状況の集計					
辞任した教員数	担当科目数の合計(a) + (b) + (c)		①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)	
人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および( ) 書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」</li> <li>・ 兼任兼任教員が担当する(している)場合は「②」</li> <li>・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」</li> </ul> |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

・ 就任辞退の教員が担当する予定であった科目については、他の専任教員又は当該教員と同じ研究領域の兼任教員がそれぞれ十分な人数で担当しており、授業の実施に支障はないと考えている。また、後任者を逐次補充しているので支障はない。

・ 辞任の教員が担当する予定の科目については、後任者又は他の専任教員で担当しており、授業実施に支障はないと考えている。

学生に配布するシラバスや学生便覧の印刷以前に本件が明らかとなったことから、当該退職した教員は掲載しておらず、学生への周知についても問題はない。

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。



## 6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の の 実 施 計 画
認 可 時 (平成30年)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (平成30年)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (令和元年)	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
  - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
  - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

## 7 その他全般的事項

<自然科学研究科 学際基礎科学専攻（博士前期課程）>

### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
① 修了要件単位数 12単位 必修科目4単位、選択科目8単位  ② 施設・設備 a 講義室10室（168㎡） b 自習室4室（166㎡） c 図書2,049,625冊 研究科・専攻単位で特定不明なため、大学全体の数	図書については購入・廃棄のため大学全体の数として 2,025,571冊となった。

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制 a 委員会の設置状況 研究科学務委員会 b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） 令和元年度中に10回開催（委員長の他、13名：講座毎選出の委員） c 委員会の審議事項等 ・研究科の教務及びFDに関する事項、入試制度方法に関する事項 ② 実施状況 a 実施内容 7.平成31年度国立大学法人岡山大学オリエンテーション及び新任教職員研修（H31.4.16開催） 岡山大学の教育課題、FD・SDワークショップ、FD・SD講演、学生のメンタルヘルスについて説明 4.2019年度教職員FD・SD研修「桃太郎フォーラム」（R1.9.20開催）及び 分科会（R1.6.17、7.17、10.28、11.27、12.18、12.20開催） b 実施方法 7.講演方式（一部ワークショップ形式） 4.講演方式・セミナー形式 c 開催状況（教員の参加状況含む） 7.H31.4.16(31名) 4.R1.9.20(72名)、6.17(21名)、7.17(17名)、10.28(7名)、11.27(30名)、12.18(14名)、12.20(19名) d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 学修意欲を高める授業の工夫、ICT活用による授業設計と成績評価 ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況 a 実施の有無及び実施時期 全学的に実施で、前期前半に1回実施予定 b 教員や学生への公開状況、方法等 5名以上の授業科目が無く、未実施の予定
--

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。  
 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

設置の趣旨・目的については、当初設定したとおりに実現しているが、今後更に教育・研究の水準の向上を図り、設置の趣旨・目的の実現に向け取り組むこととしている。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・自己点検・評価の結果の公表は、完成年度を迎える令和3年3月以降を予定している。

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開予定

③ 認証評価を受ける計画

・次期評価期間（R2～R3）の評価を受けるべく、学内で検討中

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和2年度）

a 公表予定の有無 [  有 ・  無 ]

《 a で「有」の場合》

b 公表（予定）時期 [  調査結果公表後1ヶ月以内 ・  公表後2～3ヶ月以内 ・  公表後3ヶ月以降 ]

c 公表方法 [  ウェブサイトへの掲載 ・  その他 ( ) ]

《 a で公表「無」の場合》

d 公表しない理由 [ ]

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイトに掲載するなど、積極的な情報提供をお願いします。